

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性  
審査に関する事業者ヒアリング(137)、(170)」

2. 日時：令和5年3月2日（木）13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、野田企画調査官、佐口主任安全審査官、  
谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、鈴木安全審査専門  
職、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職、西来主任技  
術研究調査官、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他8名※

電力中央研究所 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）第1078回審査  
会合を踏まえ認識した課題への対応方針

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の認識です。例えば、ヒアリングの方を始めたいと思います。この時間は浜岡発電所敷地の地質実構造のコメント回答ということで本日付の資料を用いて、
0:00:17	説明を受けたいと思います。それでは資料につきまして、中部電力の方よりお願いいたします。
0:00:25	はい。中部電力天野でございます。2月20日に実施いただきました敷地の地質地質構造コメント回答の資料につきまして事実確認いただいたところで、
0:00:36	よりわかりやすさの観点で資料を修正して参りましたのでご説明させていただきます。十分程度かと思っておりますよろしくようお願いいたします。
0:00:47	中部電力の森元です。それでは資料をご説明させていただきます。
0:00:51	まず表紙をめくっていただきまして1ページをお願いします。
0:00:57	前回資料からの変更点ということで、一番下の、
0:01:02	水色の箱に本資料における説明内容を記載しております。
0:01:08	ここで
0:01:11	この資料のたてつけでまず位置付けを少し適正化させていただきました。
0:01:19	中身ですけれども本資料におきましては、市来断層の活動性評価特に、
0:01:25	泥層の堆積年代評価につきまして、もくろみ通りの調査結果がえられれば、基準適合性を説明するための明確な、
0:01:34	根拠になりうると。
0:01:35	我々として考えており、
0:01:37	考えており、かつ、
0:01:39	現在試行している検討内容、
0:01:42	その検討を用いた評価方針とともに、お示し、
0:01:46	しております。
0:01:47	で、検討真に資する主食のために、現在実施している追加調査の具体的な内容を、その目論みとともに、説明した資料でございますのでそのあたりを冒頭に明記させて、
0:02:00	いただきました。
0:02:03	ポイントの冒頭資料の変更適正化を行っております。
0:02:08	それから、次、3ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:14	泥層の堆積年代評価の方針を今までのものから、見直しを行っている変更を行っているというのを説明したスライドでございます。
0:02:27	左側が前回まで 1078 回審査会合までの評価方針、右側が今後説明していく評価の方針でございます。
0:02:37	少し内容としてですね検討項目が追加になっている箇所と変更になっている箇所が、わかりにくいというご指摘いただいておりますので、
0:02:47	変更としては、
0:02:51	評価方針の変えたところというのは、検討項目を追加したこと、検討内容の一部変更、一部変更を行っておりますのでその旨がわかるようにということで少し小見出しをつけて、
0:03:05	示しております。
0:03:06	追加したものは火山灰を用いた検討を今回改めて、追加したと言う内容と、その下年代既知の堆積物の環境を用いた検討についても、内容を一部変更しているというものでございます。
0:03:20	変更内容は、前回のヒアリングでご説明した通りです。
0:03:24	それから同じ箱の中黄色の箱書きで記載しておりますが、
0:03:29	火山灰を用いた検討と、年代基準堆積物の関係を用いた検討この両者の関係でございますが、
0:03:38	火山灰を用いた検討をによりまして、年代指標となる。
0:03:43	降灰層準が認められた場合というのは、これが基準適合性を説明するための明確な根拠となりますが、
0:03:51	なりますので、年代既知の堆積物の関係を用いた検討というのは本来不要になるんですけども、
0:03:58	これまでの調査でですね本質、年代が明確な広域テフラテフラを起源とする、火山ガラス等が、
0:04:05	泥層の中から検出されておられませんので、
0:04:08	火山灰を用いた検討それから、年代既知の堆積物との関係を用いた検討というのは並行して実施をしていくものでございます。検討結果につきましても、カトウが、
0:04:18	OKだからいいやというのではなくて両検討結果を今後説明していくという意味ではこちらに
0:04:25	明記させていただきました。
0:04:29	続きまして 4 ページをお願いします。
0:04:33	こちらは 0 層の堆積年代評価の方針全体方針というところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:40	今後説明していく予定であります。
0:04:45	堆積年代評価の症候性も含めてですね、こちらでご説明させていただいて、
0:04:51	おります。
0:04:52	で、年度評価先ほどご説明したように火山灰分析、それから、年代既知の堆積物の環境もついた、検討分析、
0:05:02	から年代を、
0:05:04	平行に示していくと。
0:05:06	いうものでございますが、
0:05:08	下の図の 4.6. 2.3、年代既知の堆積物の関係を用いた検討の中で、
0:05:14	古谷泥層との対比につきましても、この章でしっかり説明はさせていただきますので、
0:05:22	その旨をわかるように、今までだと。
0:05:26	4.6. 2.4、2.5 ということで別出しという形で、お示ししておりますが少し関係が読みにくいというご指摘いただいておりますので、
0:05:35	4.6. 2.3 の中で、年代を示した上で、それが古谷泥層のどの層に対比されるのかというのを示していく。
0:05:43	夢を大津それから文章でも、
0:05:46	記載しております。
0:05:48	文章につきましては、オレンジ色の箱書きの一番下のポツになります。
0:05:54	年代技術の堆積物の関係を用いた検討と。
0:05:58	しては、泥層が 12.5 万年前の海成段丘堆積物よりも古い堆積物であることの確認をもって、年代を示していくと。
0:06:07	これは以前からご説明してる通りです。また検討にあたって実施した泥層の調査結果というのが、今後追加で出てくる予定ですので、その調査結果と、
0:06:18	御前崎地域に分布する 12 から 13 万年前の提出堆積物である古谷泥層の調査結果を比較、
0:06:25	A C フレアベースを含む御前崎地域の上部更新統との層序関係。
0:06:30	文献とすることで、
0:06:32	泥層が古谷泥層の一部に対比されるということについても、しっかり確認を行って参ります。
0:06:39	少し前後しますけれども、このスライドの一番上の箱書き。
0:06:45	に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:48	です。ね検討、火山灰分析火山灰を用いた検討と。
0:06:53	古谷泥層－対比も含めた、年代既知の堆積物との関係について検討を二つやっけていくんですけれども、
0:07:00	これらは、結果のいかんにかかわらずすべての検討結果を今後説明していくと。
0:07:05	いうものでございます。
0:07:08	次5ページをお願いします。
0:07:11	こちらは、堆積年代の評価フローでございます。
0:07:16	流れとしてはですね、まずは火山灰分析を行って、
0:07:22	それがなかなか難しいという判断をした場合、年代期中と等の堆積物との比較。
0:07:30	を検討するという流れがなっておりますけれども、両県とは並行して実施しているというものでございます。
0:07:39	古谷泥層との対比につきましても、今までは表現として裏付けという位置付け、記載をしておりましたが、
0:07:47	4.6. 2.3の中で、まず、分布それから性状から、
0:07:53	年代を、を特定した後に、じゃあそれが同じ年代の堆積物と言われている古谷泥層のどの層準に対するんだと。
0:08:01	いうところもしっかり確認していく旨を、このフローの方でも、
0:08:04	表現をしております。
0:08:13	次、
0:08:17	と、6ページからは、
0:08:21	堆積年代評価のための各検討の個別の方針ということで、火山灰を用いた検討それから段丘堆積物、を使った検討の
0:08:33	詳細を、
0:08:34	個別の方針を記載しております。
0:08:37	あと7ページの内容になりますが、
0:08:45	括弧書きの二つ目の部分、海水準変動の規模と回収に伴う堆積物、
0:08:53	の有無の関係というところで、いろいろ、
0:08:57	関東の事例だとか、藤会長の事例というのを載せておりますので、
0:09:02	とそちらをですね、スライド9ページの方に、
0:09:09	補足という形で、具体的に文献でどういうふうに言われているのかというのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:17	7 ページに記載している、過去実装こういった地層ですよというところを文献の記載をまとめて、
0:09:24	おります。
0:09:25	集合静養し、それから何洋装という、表記からがん病気からの移行期間に堆積したと言われる堆積物の事例と、
0:09:35	大原台サービスをという、Dからご支援に限っての比較的小規模な海水準変動に伴って、堆積するとされる堆積物の特徴を、
0:09:46	まとめてございます。このスライドを1枚追加させていただきました。
0:09:54	次10ページをお願いします。
0:10:00	こちらは泥層の分布と性状から、我々回診に伴う堆積物だというところを、
0:10:10	説明していくということを前回のヒアリングまでもご説明しておりますが、
0:10:17	どういった判断基準で、開始に伴う堆積物だと、いうことを判断していくかという旨をこの箱書きのですね一番上に、
0:10:26	記載を置いた強いました。
0:10:29	B F 4 地点というのは段丘面段丘地形んが、判読されておりませんし、上位に一般的な海成段丘堆積物である佐伯氏の堆積物も、
0:10:40	確認されておりません。またですね泥層自体も、厚さが1メートル程度しか確認できておりませんので、から開始に伴う環境変化を反映した深度方向の層相変化というのはオオイにくいという状況にございます。
0:10:55	そういった中で、泥層が開始に伴う堆積物のことの確認に当たりますは、
0:11:01	グローバルな現象である海成に伴う堆積物が持っている、広域に分布するという特徴と海成堆積物の特徴、性状を示すと。
0:11:10	この二つの特徴に着目いたしまして、
0:11:14	泥層の分布と性状を見ていることで、これは特徴を持っているということの確認をもって泥層が開始に伴う堆積物であるという判断をしていきます。
0:11:24	夢をこちらに明記させて、
0:11:26	いただきました。
0:11:30	こういった修正を加えております。
0:11:35	次の変更箇所は、少し飛んでいただきまして14ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:42	審査スケジュールをこちらで示しております。
0:11:47	現状のですね追加調査の進捗状況を反映してリバイスをかけております。
0:11:54	それからですね御説明のタイミング、それに伴いまして御説明のためにフウガ
0:12:01	まずヒアリング、資料として提出できるのが、今のところだと3月下旬から4月。
0:12:14	増税にかけて、まずは資料渡し、提出できるのかなという見込みでおります。
0:12:20	それで大体1ヶ月ぐらい2回ほどヒアリング、
0:12:25	図示いただいて、5月上旬には会合にかけられ、
0:12:31	やり出していただければなというスケジュールで今、
0:12:35	考えてございますので、その辺の変更を行う。
0:12:38	この辺りを反映して、
0:12:40	反映した工程表を今回、
0:12:42	つけさせていただきます。
0:12:45	その次15ページからになりますが、こちらはですね前か年末の審査会合からのご説明している資料でして、
0:12:55	それぞれの課題解決に向けて、こういった物証を積み上げていくのかというのを表でまとめたものでございます。161078ページと、対
0:13:05	スライド3枚にわたって記載しておりますが、
0:13:08	前回のヒアリングで、この前段でですねメインロジックに寄与するものが何なのかっていうところが、
0:13:14	少し見にくいというお話をいただいておりますので、
0:13:18	16ページ以降赤字でですね。
0:13:21	先ほど来ご説明していた内容に、12から13万年前を示すにあたって一番効いてくる。
0:13:30	調査ということで、
0:13:32	そういった調査は、赤字で差別化してこういった部署を取りに行くと。
0:13:36	いう、少しメリハリをつけた記載に改めさせていただきます。
0:13:47	前回、2月20日のヒアリング資料からの主な修正点と、
0:13:53	の説明は以上になります。
0:14:00	はい。規制庁の伊敷です。説明ありがとうございました。
0:14:05	それで確認の方、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:08	に
0:14:09	進みたいと思いますけれども、
0:14:12	まず私の方からですけど全体のところで、まず1ページ目のところですか。
0:14:20	このところの水色の箱書きのところが今回修正いただいたっていうところなんですけども、
0:14:27	何かなかなかちょっと、
0:14:29	ここで、ここは読みづらくて、
0:14:34	わかりづらいところなんですけれども、
0:14:38	まずその根拠とし、
0:14:42	んなんだ。
0:14:44	これ何か考え、何か、2行目とか考えてオオイ活云々かんて書いてこの辺のところもういきなり、
0:14:52	フリーズしちゃいそうだったんですけども、まずもくろみ通りの結果がられれば、
0:14:57	明確な根拠になり得ると考えているっていうもの。
0:15:01	と何かその後ろの部分が何か一部になっているのでちょっとそこら辺が、
0:15:07	わかりず浅尾。
0:15:08	助長させてるような気がしますっていうのがコメントとしてあるんですけども、それは
0:15:16	説明を聞けば何が言いたいかなっていうことは、はわかるんですけどもちょっとその辺が読みづらかなと今思っているところです。その上で
0:15:26	ちょっとそこは、そういうコメントだけちょっとさせていただくとして、
0:15:33	何ですか、今回そのホームページメーター。
0:15:36	4ページ目のところですか、そのところが形が大分うまく修正されたというところで、
0:15:43	先ほど説明もありましたけども四分前回の資料でいう4.6、2.4と2.5というものを、
0:15:51	については、これ全部、
0:15:53	4.6、2.3の中で説明してしまって、何て言いますか前回の1078回でのコメントに対する

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:04	会対応といたしますかそこマース前回のヒアリングで私、しつこくちょっと聞いたかと思うんですけども、そのコメントを
0:16:13	1235 とあるものについては、基本車としましてはこの黄色のハッチングのマルAからマルCのものの中を考える上で対応するものだという位置付けで、この4.6、2.3章の中で、
0:16:27	今後検討して、それに対応するものは回答されていくというふうになってるのかなと思ったんですけども、そういった構造になってるという理解でよろしい正しいですかね。
0:16:42	はい。中部電力の森本です4ページ、右側の4.6、2.3の中でですね
0:16:50	丸みを帯びた箱書きで書いておりますが、まず
0:16:56	課題として、大きく三つ、
0:17:00	我々としても認識している丸A0Bもあるし、についてはここでAと書い。
0:17:06	ここの2.3章を説明することで解決が図れるものと、
0:17:11	考えております。それから前回技師さんもお質問いただいております。
0:17:17	笠名れ古谷泥層以外の地層と違うという、いうこと。具体的には笠名礫層、
0:17:25	と同じ山に対するじゃないだとか、敷地のD種堆積物のような局所的な堆積物と違うよということについても、この計算書を説明していく中で、
0:17:36	その課題の解決につなげていきたいと考えております。
0:17:41	具体的には、正常であったり、
0:17:43	ある程度広さを持って分布しているというところをもって、
0:17:49	それが結果的に、
0:17:51	課題解決に繋がっていくものと、
0:17:54	いう整理をしております。
0:17:58	はい。規制庁のニシキです。いずれにしろ、2.3の中に全部入ってそこで、いや、されるものだという理解でいいということを確認いたしました。
0:18:09	それで、もう一つ全体の流れなところで、
0:18:13	どうぞ。
0:18:15	麻生3ページ目のところで、今回その検討の追加というものと一部変更のものは、若干わかるようになって形で書き分けて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:24	あと、それぞれ示していただいたかと思うんですけども、
0:18:29	ちょっとこの中で何か説明の中で、さっきのご説明の中でもちょっと 間、
0:18:35	んと思ってしまったところが、
0:18:38	今その運営と検討内容一部変更のところの文章ですけども、まずそのま ず御前崎地域の云々というところで、一つ目、
0:18:52	の話があってその都度その上で、グローバルなもので云々かんぬんて書 いてるんですけどこの二つのこと。
0:18:59	何といたしますか
0:19:01	先ほどの説明でいくと下末吉のお話だとか、ああいったものと関連さし て説明していくことなのかなと思ってはいるんですけども、
0:19:12	4 ページ目の方の章立ての方で見ると、この 4.6. 2.3 のところっていう のは泥層の分布と性状というようなところでのお題目になっていて、
0:19:26	それで、5 ページ目の方を見てみると、その 4.6 で 2.3 の中で、基本中 泥層のお話はどうなもんですかってだーっと来るんですけども、
0:19:37	その中で多分、何て言いますか、しずと下の方について泥層は開始に伴 う堆積物っていう、水色の箱書きの右側にある部分で、その部分が、
0:19:49	などうなのかというここで何か照会をかけてそういったところに調査す るような形になると思うんですけども、まずそもそも
0:20:00	何だ、江崎付近の 5、50 メートルの文の堆積物は開始に伴うもんでいい んですよっていうものっていうのはど、この辺で確認をするのかってい うのが、
0:20:12	よくわかんなくて先生がいわゆるグローバルなもの、他の地域のものでも こうであって、
0:20:19	世界なんだ反省とか、世界的には、こういうものを、
0:20:24	は 5 e の堆積物として見ていいんですっていうような、
0:20:28	何か交渉といたしますかその部分はどこで確認をするのかがこの図とかで いまいちわからなかったんですけどそれってどこどこに相当すると考え てればいいですか。
0:20:42	はい中部電力の森本です。すいませんちょっとフローだとか症候性のと ころでなかなかそこまで反映しきれなかった部分はあるんですけど も、
0:20:54	まず 4 ページの症候性、
0:20:58	の中で今考えているのは 4.6. 2.1。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:04	体積年度の評価方針と、
0:21:07	いう中で、まず、
0:21:09	火山灰を用いた検討当然そうなんですけれども、年代きちっとの堆積物の関係を用いた検討っていうのは、
0:21:17	海成
0:21:20	若い新規の堆積物、
0:21:23	D、
0:21:24	あると、50メートルの下式の堆積物であるということが言えれば、12.5万年前より古いんですよ。
0:21:32	というところはこの方針の中で、
0:21:35	しっかりですね、
0:21:37	文献の内容も使って説明、
0:21:42	していく予定でありますで、その辺りの具体的な内容が、今、6ページから8ページ。
0:21:54	にかけて、個別の方針として、
0:21:58	示させていただいている。
0:22:01	内容でございますで、この辺りをですねもう少し文系んの。
0:22:05	内容も用いながら、厚みを持たせたものが、
0:22:11	各章で、4.6. 2.2 と 4.6 で 2.3. 何を確認すれば、
0:22:19	泥層が、11 から 13 万年前以前の堆積物だといえるのかという方針は、
0:22:26	この 4.6. 2.1 の中で説明していく予定であります。
0:22:32	ので、6 ページから 7 ページ厚みを持たせたものが、
0:22:36	4.6. 2.1。
0:22:39	の方針。
0:22:42	になってその中で、先ほどニシキさんからご質問いただいた、
0:22:48	50 メートルで何で回収なんて言えば古いといえるんだというところは、
0:22:53	しっかり説明させていただく予定であります。
0:23:02	はい。規制庁認識です。
0:23:06	は、今おっしゃったことは、そこからこの 4 ページ目の、
0:23:12	例のオレンジ色、薄いオレンジ色っぽい囲みのところで、評価体制、泥層の堆積年代の評価方針ってことで括弧で 4.6.2. 1 って書いてるので、ここでやりますよというご説明。
0:23:25	やったっていうことを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:26	ようやく、はい。つなぐかわりはしました。ただ、はい。そうですね。わかりました。
0:23:34	そっかここは、
0:23:40	すいませんじゃ続いて認識ですけどもそこで方針が決まったやり方として決めていて、
0:23:48	何て言いますかそこで、
0:23:51	何ですか。
0:23:52	大豆つうことはこの方針のところで4.6. 2.1 のところで、もう
0:23:59	御前崎地域の標高 50 メートル付近の、
0:24:05	田井海成堆積物であれば、
0:24:08	であればそれはM I S 5 e であるってこともこの方針のところで決めて前提で次、2.2 と 2.3 を考えていくというような流れということですか。
0:24:22	はい森本ですまず、今西さんおっしゃった、流れを考えておりますまずしっかり方針として何を確認すればいいんだというところを説明しきる。
0:24:33	その上で、調査結果を示していくと。
0:24:36	流れを今考えています。
0:24:40	規制庁の名倉です。
0:24:43	すいません今説明でいく等、
0:24:47	P 6 から P 10 の個別方針の引用のところに飛ばして、
0:24:52	4.6. 2.1 に該当する 4 ページのこの黄色四角のところから、
0:24:57	P 6 から P 12 飛ばしている、ここの、
0:25:03	部分をもって 4.6. 2.1 に含まれますって言われても、
0:25:08	この 4.6. 2.1 の中で、具体的に説明して全体方針として具体的に説明してる内容っていうのは、
0:25:16	この
0:25:17	黄色い紙か黄色かオレンジの四角書きの中、
0:25:21	のことだと思っていたんですが、
0:25:25	こういうふうな重要な何て言うのかな、推論を基にした。
0:25:31	何ていうかな、
0:25:33	評価方針というか、そういうものが前提になっているのであれば、もっと 4.6. 2.1 の中がドラシックに今までと変わっているのでもちゃんとこれ書いていただかないと。
0:25:45	なんかこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:47	すごくトリッキーな、
0:25:49	何て言うのかな方針を述べられていていやあ、言われてもここにここに ありますよってって言われても、これ気がつかなかったらそう読めない ですね。
0:26:00	そういう意味でちょっと、
0:26:02	先ほどニシキの方からいろいろと文章をこれ意味してるものが全然わか りませんよって、その認識はそこまではっきり言ってないですけど1ペ ージ2ページの文章、もう、
0:26:13	これ意味が全くわかんなくて、
0:26:16	日本語になってないんですよ。
0:26:18	だから、すみませんけれども文章読んでも、
0:26:21	何言ってんのかさっぱりわかんなくて、この資料読めない。
0:26:26	そういう今状況なんですよ。
0:26:28	これどこにあるんですかって聞いたら奴に書いてありますよって書いて あるんだけど、その会社全体にそういう話は入っていないくて、
0:26:38	というふうな状況になっていてこれで、資料の手を出しているんですか 本当に。
0:26:55	中部電力天野でございます。
0:26:57	すみません1ページのところの青いところは、我々も少し悩みながら書 いてたので
0:27:04	もっとちゃんとわかるようにお伝えをできるようにしたいと思ってお ります。言いたかったのは、
0:27:13	理想的な、
0:27:15	調査結果が、られれば、
0:27:19	こういう説明方針でいけるでしょうというものと、それでいて、今まさ に現在施工しているというA & Bということ、
0:27:29	やってますと、今回の資料はそういう立て付けですということをお伝え したいんですがちょっとここは日本をもう少しわかるように変えたいと 思います。
0:27:40	で、
0:27:41	4ページのところっていうのが、資料の手をなしてないっていう。
0:27:48	ところでいきますちょっとあれですかね
0:27:52	具体的なことを6から、
0:27:55	8の方に書いて、10ページまでに書いているという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:00	ところを、
0:28:03	上の黄色い四角の中で読みきれなくて、わからないというご指摘であるとすればも、もう少しちょっとここ、
0:28:13	その辺りが全体わかるように、工夫はしたいと思います。
0:28:22	規制庁の松江です。今のお話なんですけど5ページのですね、
0:28:29	右側の4-6-2-3の角の中の、
0:28:34	ずっと縦に、
0:28:36	あって一番下の方に青が二つあって流総開始に伴う堆積物だから、
0:28:42	十二、三万年前のところに、
0:28:45	C、
0:28:47	白抜きで、四角があって御前崎地域の50メートルに分布する。
0:28:53	ものがM I S 5 eに開始による堆積物という、これデータ高が何も書いてないんで多分これが、
0:29:01	さっきから話題になっている。
0:29:04	P 6 から 10 の文献調査の、
0:29:07	結果による、解釈が、この四角なんだろうなど、好意的に私は読み取ったんですけどそれで間違いはないですか。で、
0:29:18	今のお話だとこの説明が4.6. 2-1に書いてあるんだということでしょうか。
0:29:30	はい中部電力の森本です。
0:29:33	まず5ページのフローの白抜きのところ。
0:29:38	すなわち、
0:29:45	4.6、ごめんなさい4.6. 2.3 ですね、何を
0:29:50	証明しに行くのか、みたいところはすなわちそれは
0:29:54	評価の方針になりますので、
0:29:58	それはまず、4.6. 2.1、体積年度評価方針でないと何を証明することで、
0:30:06	古い地層だということを、いくかと。
0:30:10	いうところをしっかりと説明しに行く必要があると。
0:30:14	考えていますんで、
0:30:16	今、すいませんちょっと説明と資料作りも申し訳なかったんですけども、
0:30:21	この4.6. 2.3の中では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:27	の開始に伴う堆積物だということを、を説明することが、なぜ、古い地層だということに繋がっていくのかというところはその前段に、
0:30:37	やっぱり説明する必要があると考えておりました、その内容は、今松井さんおっしゃったように、4.62章構成としてはですね。
0:30:45	4.6. 2.1の中で、
0:30:48	説明していく予定であります。今回の資料につきましては、
0:30:53	まず、こういった調査をしに行くのかと。
0:30:56	ということが重要かと考え、
0:31:00	まして、
0:31:01	具体的に、
0:31:06	この4.6. 2.3中で何を確認しに行くのかというのは、6ページから7、8ページの中で、
0:31:12	少し分量が多くなってしまっているので、
0:31:15	しっかり書かせていただいたというのが
0:31:18	今回の資料です。これが将来的にコメント回答の資料としては、
0:31:24	4.6. 2.
0:31:26	1という方針の中で、しっかりもう少し文献をですね厚みを持たせて説明をさせていただくというところをすみません説明。
0:31:36	先ほどお伝えしたか。
0:31:38	ということがですね先ほどお伝えしたかった内容です。
0:31:58	すいません規制庁するケース。
0:32:02	1ページ目から1ページ目のちょっと下の、大まかは囲みのところって、
0:32:07	私なりにこんなのがなんていうか少し改変を加えて読むと、
0:32:14	本資料においては、1回ちょっと隠してですね、多分1K断層の活動性評価特にリリース後の堆積年代評価については、もくろみ通りの調査結果があれば基準適合性を説明するための明確な根拠と、
0:32:29	あり得ると考えている。
0:32:31	というのは等々で当たり前のことで、考えていなくて調査するわけではないので、ここは単なるお気持ち表明ですよね。
0:32:39	本、そのあとが本資料においては現在施工している検討内容を、その検討に用いた評価方針とともに示して、
0:32:48	その物証主特性検討する部署のための方にあるんだから、もくろみとともに説明するって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:55	そういうふうを読めばいいですか。
0:33:06	いや今、今のここに書いてあることのみで、
0:33:10	少し読み解こうとするとですね。
0:33:16	はい中部電力の折本です。
0:33:21	はい。すいませんちょっとこの資料に何が書いてあるかというところと今、我々はどういう方針でやっ。
0:33:30	していこうかというところが、ちょっとごちゃごちゃになって、
0:33:34	喜多とちょっと今、鈴木さんからご指摘いただいて思ってますが今、都築がおっしゃった通りでして、
0:33:41	最小のところは今、我々が一生懸命やっていること。
0:33:46	と書いていて、
0:33:48	この資料ってのは何なのかっていうところを、この勝以降ですね。
0:33:54	現この資料では現在施工している検討内容を、評価方針、それから、
0:34:03	具体的にやってる追加調査の内容ともくろみ。
0:34:07	を説明しているというものになりますので、すいませんそのところは改めさせていただきます。
0:34:14	はい読み方が間違っていればいいですはい。で、次3ページ目なんですけど、今日の説明でもですね、一応その古谷泥層との
0:34:24	対比というのは、
0:34:26	別に取り下げたわけではなくて、
0:34:28	という。
0:34:30	説明ではあるんですけど、この3ページの右側の、今後説明していく評価方針の中で、
0:34:37	古谷泥層との対比の話はどこで読めばいいですか。
0:34:42	何か今見ると、検討内容一部変更っていうところの、
0:34:47	ポツを見ると、何か回診の話と、あと何かなお書きわけで、笠名との関係ですよ。
0:34:56	というのは書いてあるのですが、
0:35:01	ここからは何ていうか、このページだけを見るとですよ。
0:35:05	何かこの改新であることをもって、
0:35:08	0層の堆積年代が12から13万であると示していく。
0:35:13	右側の箱読めるし、結局下のそのフローチャート見ても、従来は泥層古谷泥層に対比されるということをもって、一番下のゴールに行くんですけど、今回は開始に伴う堆積物を入れた時点で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:26	ゴールにたどり着きますっていうようにこのページだけ見ると見えるんですけど、ここでは何か、どこに書いてあるんですかね。
0:35:42	はい中部電力の森本です今回の変更後の方の
0:35:50	検討における古谷泥層の位置付けなんですけれども、下の図でも少しその辺り模式的には示しているんですけれども、
0:35:59	泥層が、回診に伴う堆積物だということをまず我々としては示して、
0:36:09	示していきますので、それが示せることによって年代としては12から13万年前だということがいえるんだというところをまず、
0:36:19	広域の文献調査なりHP層状解析から示して、
0:36:24	それ、
0:36:25	その内数として、古谷泥層と、
0:36:29	名前がついたものが、御前崎地域には分布しておりますので、
0:36:34	まず、年代として、12から13万年前というところを、開始に伴う堆積物だということをもって示していく。
0:36:42	いうことをやった上で、じゃあそれが古谷泥層と対したときに、どの層準に当たるのか、その対比は矛盾ないのかということを示していくと。
0:36:51	いう内容でございます。
0:36:59	ちょっとそうする、ここにはすいません3ページには、一応ここに含まれているっていうことなんですか。
0:37:08	それとも3ページの右方フローで、開始に伴う堆積物で黄色フローD、D層の堆積物年代は約12から13万年前と言い切った上で、
0:37:19	その上で、ここのそのあとに出てくる、5ページのフローを見ると、
0:37:25	耐震に伴う堆積物って言った後に、
0:37:29	評価できましたって言った後に、その下に何か総合関係で、古谷泥層と書いてあるんですけど、
0:37:35	何かこう、ページごとで見っていくと、何か同じこと言ってんのかなっていうのがやっぱりあってですね。
0:37:41	一応、府レースで4ページにいくと、やっぱりBSOcレースを古谷泥層株に対比されますっていうのが、このなんか内数に入ってるんですよ。
0:37:51	あと内数なのか外数なのか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:55	結局どっちだったんでしょうかっていうのがですね、3 ページ、4 ページの、やっぱり一番下のポツ見ても、泥層が古谷泥層の一部に対比されていくことについても確認しますと。
0:38:06	これは書いてあって、
0:38:08	逆にこっちには、
0:38:10	前のページにあったのは大垣の何か笠名等関係の話が、
0:38:15	今度どこに行ったんでしょうかとか。
0:38:17	うん。
0:38:19	ここだと、上の本文にはなくて、123 四つあるポツにはなくて、ただ、
0:38:25	下のフローというか、フローフローということ。
0:38:29	章立てですよね章立てのIV見ると、確かに丸椎野氏タニ笠名と同年代でないことみたいのが、何か書いてあったりして、
0:38:39	何かページによって、
0:38:42	出ることが、おなじことを言ってるのかなってというのがすみません。
0:38:46	あったので確認をしました。
0:38:52	あと、ごめんなさい、5 ページ目で、
0:38:57	使用。
0:38:59	フローチャートのこのスタートとしては、火山の側で出ているっていうのは、
0:39:04	スタートな火山の方で、が出ると。
0:39:09	次の良くて 2.4623 章に行くんだけど、右上のところを見ると一応並行してありますと。
0:39:17	わかりましたと。
0:39:20	この日からの方って、結局、前回だと、
0:39:30	クリプトテプラも増え T e p h r a も含めて、火山灰が含まれている、層準が認定できる、Y E S があった後に、
0:39:39	これは山の方はもう、ここは一旦、
0:39:44	なんていうか
0:39:45	年代だけわかれば良いと。
0:39:48	別に古谷泥層と。
0:39:51	のところにも同じものがあるとかそういう話ではなくて、何かあるんだけど年代がわかればいいっていう、一旦そこでシンプルに切ったと捉えればいいですか。これ何か前回ヒアリングだとこの後に古谷泥層との、
0:40:04	話が出てきたりしてたんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:22	電中研ササキです。
0:40:24	はい。すいません。どうぞ、お願いします。
0:40:27	はい。衛藤
0:40:32	この検討フローの難しいところ、現段階で説明の難しいところというのは、あくまでその調査結果が全部出揃ってないというところがすごく難しいところではある、あります。
0:40:43	それで、
0:40:45	現状を、
0:40:47	こういったフローで検討を
0:40:51	やってみますけどどうでしょうかというのがこの資料になっていて、
0:40:55	例えばこの今追加調査を進めていくにあたって古谷泥層との対比がものすごく確度が上がる学術的にそういった、
0:41:06	対比が容易にできそうなエビデンスがどんどんえられてきたら、おそらく、
0:41:13	このこのフローはその古谷泥層との対比っていうところをもうちょっとクローズアップしたような、
0:41:18	フローになっていって、結局検討フローが変わることによってももちろんその前に各検討方針というのも変わってくる。
0:41:27	ていうところになると思います。ただし今、現状だと、このどこに時間軸を置くかってのはあるんですけども、前回のその審査会合んで、
0:41:38	その評価、方針を示しなさいっていうふうに言われた段階でそこから調査を進んではいるんですが、
0:41:46	確定的なことをいえるようなまとめ方まとめ方ってのはまだできてませんので、
0:41:53	その段階では、古谷泥層との対比というのはそんなに、
0:41:59	確度が高いもんじゃないんじゃないかというご指摘がありましたので、
0:42:04	そういった、そういった時にはまずその
0:42:08	古谷泥層との対比よりも、以前、
0:42:12	それよりも前段階で、泥層の性状と分布ってのをしっかりやりますと。
0:42:17	正常と分布をしっかりとやることで、
0:42:21	もしかしたら古谷泥層との対比というのが、そんなに確度が高いものじゃなくてもちゃんと年代評価堆積年代評価ができるものになるんじゃないかという、
0:42:32	もくろみがあってこのフローを作っていてそういう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:35	評価方針になってます。
0:42:38	ですのでちょっと難しいのは今現状そのデータが出揃ってないっていうところで、何やら奥歯に物が挟まったような書き方になってしまうというのは、すいませんちょっとご承知おきください。
0:42:58	すべていただきありがとうございますはい。
0:43:00	いや、今はあれですね。はい。この左側方のところは、
0:43:05	何か、どこが重要でっていうと古谷泥層の対比が何か一番下に入っちゃうと、ちょっと現状と、
0:43:11	合っていないっちゃうことですねわかりました。わかりましたそうそういう趣旨ですね。はい。
0:43:15	ちょっとこの段階でYESのようにするっちゃうところはなかなか難しさはあるんですけど、
0:43:24	これ前回もこれ、何か現段階で何かこう、イエスノーなのかなというのは、一応あるっていうコメントもあったんですけど一応今現状、イエスのフローになっててですね。
0:43:35	一応顧問のため、あんまりここ深い話ではないんですけど、一番右端に何か再検討のこの矢印があるじゃないですか。
0:43:45	ここでは、多分、評価方針ですよね個別の検討方針じゃなくて評価方針の再検討となっていて、
0:43:55	だから課税ん、火山灰でOKが出れば多分そもそもそこでものすごいクリアなデータが出れば、そもそも以下の、
0:44:03	いいんでしょうけど、
0:44:05	広域の話か或いはこの回診に伴う堆積物かといえるところまでのところで、ちょっと物証が、うん。なさそうですねと。
0:44:16	なった場合は、
0:44:18	方針自体を、
0:44:20	再検討すると、ただそこ開始に伴う堆積物というところさえ言えてしまえば、その下はもう、
0:44:28	何か再検討っていうのが特に、
0:44:31	ないのですが、ここって何か体があります。
0:44:35	それとも、この段階で、再検討するのは評価方針レベルでもうガラポンでから本というのも変かな、再検討するっていう大きな話になるのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:46	広域とも言えない、或いは何か書いん海成という証拠がすらも出てこない、そうならばもう評価方針自体をもっと再検討しなきゃいけないし、
0:44:57	古谷泥層等の対比
0:44:59	であれば、その対比材料みたいな個別の
0:45:02	検討のところを少しチューニングすればいいだけで、評価方針にまでさかのぼって再検討要らないとか、なんかそういう位置付けの違いで、何かこう再検討に矢印に行くものといかないものが何か分けられているのか。
0:45:17	なんかそこって違いあります。
0:45:35	はい中部電力の森本です。まずう開始に伴う堆積部通だと言われた後特に最近等が出てこないという点についてですけれども、
0:45:48	調査としてはですねこの前段のところ緑で書いておりますけれども一通りもやり尽くしている改新
0:46:00	だというにあたっての調査としてはまずは、ここでやり過ぎすと。
0:46:05	いう形になっておりますので、この後、じゃあ、どう、どう調査をどうするかとかいう方針まで戻ることはないのかなということで、今は
0:46:15	ということを、
0:46:18	一般的にですね、50メートルに分布する地層が、完新統の堆積物だというところが説明できれば、年代としても決まるんじゃないかと。
0:46:28	二つをもって再検討というところは出してない。
0:46:31	いうものでございます。
0:46:33	再検討についてもですね今一緒くたにして、堆積年代評価方針について再検討という
0:46:42	書き方にはしておりますけれども、
0:46:45	先ほど来鈴木さんおっしゃったように、この前段の調査でですね出てくる内容によって、
0:46:54	チューニングというかですね、戻るところはどこまで戻らなきゃいけないのかっていうところは、
0:47:03	根本的なところに変えなきゃいけないかもしれないし、
0:47:07	それとあと何か追加で、あとこれとこれ確認すればいいよねっていう段階に行くかもしれないですけれども、現状としてはすいませんそのあたりは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:17	まとめて評価方針について再検討という形で記載させていただいておりますのでこの辺りは、
0:47:25	どうしてもどういった結果が出てくるかによってくるところなので、
0:47:30	まずはちょっと今のNoというところで一つのボックスにできる。
0:47:35	いう状況でございます。
0:47:40	規制庁の名倉です。
0:47:43	ちょっと根本的なところをお聞きしたいんですが、
0:47:47	9月の下旬に審議して、
0:47:50	その時、多分、象徴的な言葉でもあるんですけど、
0:47:55	物証による確認。
0:47:58	これをちゃんとやりましょうと。
0:48:00	ということが9月下旬の会合で、お互いに合意した内容だと思うんですが、
0:48:07	ちょっとそれが、
0:48:09	今説明してる資料の内容からすると、
0:48:12	かなり薄くなってしまって、それはおそらく今いろんな努力をしてるんだけど、まだ有力な物証として何が使えるかわからないと。
0:48:22	多分そういうふうな状況にあるがゆえに、明確に言えない。
0:48:26	ということ等であると思うんですが、一方で、
0:48:31	例えば3ページとか、
0:48:33	右側のところの、緑と青の四角枠の集合関係。
0:48:40	これを見ると、
0:48:41	古谷泥層以外でも泥層ってあるんだよ、別に対比できなくても、年代感出せるんだよ。
0:48:48	ていうところが、急に今回方針として出てきていて、
0:48:54	それで、火山灰を用いた検討で、もし、そのところがうまくいかなかったら、
0:49:02	5ページのところ、
0:49:06	泥層の分布、
0:49:09	礼装が御前崎地域に広域広域的に分布する堆積物であるということと、
0:49:15	泥層は海成堆積物であると、いうことをそれから、いろんな既往文献とかそういったところの、グローバルな視点とかそういったところもそうだと思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:28	御前崎地域の標高約 50 メーターに分布する開始に伴う堆積物であれば、
0:49:35	M I S 5 e 相当ということがいえるんじゃないかと。
0:49:40	というところの話がこれちょっと前面に出過ぎていて、かつその下の古谷泥層との対比っていうのは、あくまでも十二、三万年間以前と評価した後において企画対比が記載されているから、
0:49:55	根拠として古谷泥層との対比は必要ありませんと言っている。
0:50:01	それで、一方で P 6 から 8、もしくは P 10 ページですかね。
0:50:07	10 ページで何かいろいろと、
0:50:10	確認の具体的な方針って、いろいろと書いているっていうんだけどいざ目に行くと、
0:50:17	この P 10 - 0102 ということで分布と性状についての検討で、いろんな調査を実施している、だけれどもここに書いてあるのっていうこと書いてある内容っていうのは、
0:50:30	あくまでもこんな確認しますよっていう雰囲気的なことを書いてあるだけで、
0:50:35	何がどうであれば判断できるのか、具体的な物証としては何を期待しているのか。
0:50:43	ここで今までえられていない、どんなものを得るためにどういう調査を実施しているとかそういうふうな関連も、あまりこう明確に書いてなくて重点的に何をやってるかっていうこともここで読めないよ。
0:50:55	こういう状況において 5 ページのフローをやっぱり見ちゃうと、
0:51:00	具体的な判断基準もなく、具体的な物証もえられないでも、今までの内容でも、結論に結びつけられますよと言ってるようにも見えなくもない。
0:51:13	そうするとじゃあ一体何だったの。
0:51:16	これって調査しなくても、
0:51:20	推論だけでやろうとしてんの。
0:51:24	なんかそういうところに持ち込んで強いししし持ち込もうとしてる。それぐらい大きな評価方針の変更を今回したんじゃないかと。
0:51:35	そういうふうにこの資料って実は読んでしまえるんですね。
0:51:38	そうするとじゃあ一体 9 月下旬に議論したことは何だったんですか。
0:51:44	一体どういうことなんですかって。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:46	これ、かなり逆戻りした議論になってしまうようなちょっとそういうふうな危ない状況を危惧してるんですが、
0:51:53	そんなことを一切考えていないんですよ。
0:52:05	はい。中部電力天野でございます。そういうつもりで書いているわけではなくて、前回のヒアリングでもご説明させていただいたんですけど、
0:52:18	あくまで
0:52:20	冒頭書いている50メートルに分布して開始に伴う堆積物はM I S 5 eにあたるでしょうということは、文献等から、もう少し、
0:52:31	今回該当するときはしっかり書き込みますけど文献等から演繹的に、そういうことがいえるだろうというのは、9月以降に、いろいろ検討した中で我々として、今それが一つの
0:52:44	調査結果としてお示ししていくと、いうことをしております。だから、
0:52:49	3ページにあるように、
0:52:51	以前はその文献調査がまだ足りてない部分もあって、M I S 5 eかM I S 5 cどちらかですねと、比べてみたら、
0:53:00	いいでしたねというような単純な構成にしてましたが、今回はそこをもう少し地域的に上流で、
0:53:09	説明をした上で、古谷泥層というものが、
0:53:14	江崎地域のある種なのある古家層の中の泥層ですけど当然その時代っていうのは、文献にも出ていないような、泥層もあるだろうと。
0:53:25	ただ50メートルにあるこういったものっていうのは、そこに該当するのでその中の一部が古谷泥層であり、我々のもくろみとしてはそれがB F 4、
0:53:36	に該当する、するだろうというふうに考えていくと、なので、9月にちゃんとを約束してる部署をもってし、
0:53:46	確認するというのもしっかりとやっていくという体制は、いささかも変わって、
0:53:53	いないという状況でございます。
0:53:58	先ほど名倉さんがおっしゃられた10ページで、
0:54:01	何が足りないからどれをやるかというところまで書き込めてないのはやっぱり、申し訳ないですけども、恩田上で、まず、
0:54:12	全力で調査を進めているので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:54:15	どこがどう足りないかっていうよりはもう店を広げてやってしまっているのでもう今書き込めていないと、いうところです。正直言ってデータがしっかり出てきたときに、
0:54:27	今まで足りなかったものをこういうふうには充実したってことはいえるんですけど、現状、そこをやるよりは、調査の方、重点的に広げているというところで、
0:54:39	書ききれないというのが現状でございます。
0:54:55	規制庁の名倉です。
0:54:57	私、
0:54:59	やっぱりこの中で特に重視したいのは、そちらの意見も少し尊重をし、した上で考える、考えますと、
0:55:09	やっぱり 10 ページのところ、
0:55:11	火山灰のところは、それはそれで、
0:55:14	どういうふうな判断、どういうふうなデータでどういうふうには判断するかっていうところはよく聞かないといけないところはあるんですけども、
0:55:23	やっぱり 10 ページのところについて、これが多分、非常に重要になると思いますので、ここで言っていることが一体、
0:55:32	具体的にどういうことをイメージして、ここに書かれているのか、それが、どういうふうな判断の基準を持って、見ればいいのか。
0:55:43	このところは、それをちゃんとやっぱり書くということが、
0:55:48	非常に重要になってくるんじゃないかな。
0:55:51	実際どこまで物証として得ようとしているのか、それがどれぐらいの具体性を持って見えてくるのかというところ、これを見る上ではやっぱり 10 ページをしっかりと書いていただくということが、
0:56:04	重要かなとは思いますが。
0:56:08	ちょっとそこら辺ですね今、なかなか書きにくいとは、言ったとしても、
0:56:16	ちょっとそこら辺がちゃんとデータがそろってから出してくるんですね、データがそろわないうちに、出すようなことないですよってことだけはちょっと確認しておきたいと思います。
0:56:36	はい。中部電力の森本でございます承知いたしました 10 ページの内容。
0:56:43	ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:45	はい。どの判断基準をもう少し名、
0:56:49	もう少し言いますか明確にするという。
0:56:53	ことは何をもって今の分布広域だということと、
0:56:58	海成堆積物だという、
0:57:01	意見を、我々、説明すること等を一生懸命やっていきます。
0:57:10	いう説明をしているんでもう少し判断基準をですね具体的に、
0:57:16	各、
0:57:19	ようにさせていただきます。
0:57:22	以上です。
0:57:39	榎城スズキです。あと、
0:57:41	今回の修正の 161078 のところで、紙だけ確認したいんですけど、
0:57:48	これ上の赤字の
0:57:50	赤字は何ですかという等、基準適合説明するための明確な根拠となり得る。
0:57:57	と言っていて別にこれ、何か赤字だけあれば、基準適合の処理条件です と書いてあるわけではないですね。
0:58:06	これ、小浜局長つける意味で、特に重要視してるものっていう趣旨ですか。
0:58:15	はい。森本ですここだけあればいいというわけではなくて当然
0:58:21	総合的な判断を必要になりますので、特に重点的にやっているという位置 付けで今赤字にしております少しそのあたり、もう少し見やすいように、 終了させていただきます。
0:58:33	わかりました重視してやっているものっていうことですねはい。
0:58:37	それじゃ赤くなってるのを見てみると、いう 6 は、
0:58:42	一番上の赤井のやつは、最後の末尾は広域に分布する堆積物の根拠で次 の
0:58:49	赤が笠名との層位関係で、これが 10 万年前の、要は 1 時代古い高海面 期の
0:58:56	堆積物がないことの根拠。
0:58:59	だからいわゆる
0:59:02	回診。
0:59:04	を示せば一連の中ですね。その次のものが、何か二つは二つという かですかねまず海成生物を含むとか或いは C S 費のところは、
0:59:16	これがだから、海成大金再堆積物かどうかの基礎資料です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:21	また釘最後の三行がまたで区切られていて、
0:59:26	ここは古谷泥層との対比。
0:59:30	最後の古谷泥層との対比の部分で、
0:59:34	何か重視しているものの中に何があるかなって見ていくと、基本はこの
0:59:39	花粉が多産する。
0:59:42	堆積物、
0:59:45	ちょっと従来のBF4地点の泥層だけだと、ちょっと花粉の層状としてはなかなか対比が難しかったんでもうちょっと上のところまであればという、その話かと思えますけど。
0:59:56	この花粉の話ぐらいかなと思って見てるんですけど、17ページ見ても、これ多分同じですよ、前のページと。
1:00:05	海成生物化石とかあと微化石Cs費は、
1:00:10	これは0宗の導水同層準に海成堆積物が分布することの基礎で、フェア泥層造の各比率が対比が可能と。
1:00:20	いえるところはここはやっぱり花粉ですね。
1:00:24	で、一番下は、
1:00:27	これは広域文献記載等っていうのは、これも、
1:00:31	広域の根拠。
1:00:33	18ページも、二つありますけど広域の根拠と、
1:00:38	あとは三ツ星の高海面期、
1:00:42	ではないということの根拠なんで、
1:00:46	重点的になっていうところの中で入ってるのは、ちょっと花粉の話なんで、ここは割とその古谷泥層との対比の部分、部分としては、
1:00:56	今あれですか、最も重視してるのは、花粉ということなのか、たまたまこの区分上、赤くなる場所があるので、それに紐づいて、
1:01:08	同じ項目にいるんで、何か花粉の部分まで赤くなってっっちゃうだけなんですかね。
1:01:17	はい根本です。ちょっと記載がわかりにくいところがあってすみませんでした
1:01:27	の泥層の中で花粉は当然一生懸命やってるんですけどまず前提として、
1:01:32	海成堆積物だということが言えれば、
1:01:35	年代評価上も、オオイ、
1:01:40	非常に重要な
1:01:44	海成堆積物だということが、年代評価上重要な点かなと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:49	ちょっと考えておりますそれは資料の前半の方で、一生懸命説明している内容でございます。
1:01:54	それが負け変えられるとすれば当然それは古谷泥層と対比にあたっていろいろな根拠となると。
1:02:00	いうところは変わらないんですけどもまずそれよりも、
1:02:03	海成堆積部通だといえる有力な根拠となるということだけがすいません今書かれていますので、
1:02:12	T
1:02:13	古屋と対比にあたって、
1:02:15	やっぱ花粉だけを値を重要視してるわけではなくて、
1:02:19	花粉だとか化石も含めて、
1:02:24	対比は行っていきますただその中で、花粉だと環境まではなかなか論じること。
1:02:31	淡水か海水管の中からできないんで、
1:02:34	化石であれば、そういった堆積時の水仙環境も論じるということで特に重要視していると。
1:02:43	いう位置付けです。
1:02:45	その辺りちょっと同じ項目でくくっちゃってるところがあってですね、井関さんおっしゃるように、見にくくなってますので、わかりました。はい。このもともと従来の記載をある程度生かした形で、
1:02:58	赤く塗ってるんで、はい。同じ項目だからってということで、別にことさらこの花粉にこだわって、古谷との対比をしたいってということではないわけですね。はい。
1:03:08	わかりました。
1:03:15	タニです。
1:03:16	ちょっと16ページで私もちょっとさ、さっきの確認と言ったようなことかもしれないですけど、
1:03:21	16ページの一番上に泥層の詳細な分布状況っていう中で、BF4からBF1地点に提出堆積物が一定の広がりを持って分布すれば、
1:03:35	広域、それは、
1:03:38	0層が広域に分布する堆積物であることの根拠になるっていう、
1:03:43	ふうにちょっと言いよんでしまったんですけども、これって前回の会合で私確認して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:50	これBF4地点からBF1地点だけの話じゃなくて、もっと広い範囲です ですね、古谷泥層と対比できたら広域的な地層に、
1:04:02	なん、地層、地層として整理するってことなんですかって聞いた時 にそうですよって言って答えてるんですけども。
1:04:10	これあれですか、ちょっと文章の読み方が悪いんですかね私の、このB F4からBF1地点に一定の広がりを持ってれば、すなわち広域に分 布する堆積物である。
1:04:22	ていう判断になるのか確認させてください。
1:04:28	はい井本です音響とすみません帰ってしまっているのが十分条件 の良いうように読めてしまってるんですけどこの必要条件でして、
1:04:39	古谷泥層も含めて広域的に分布すると。
1:04:43	いう中で、少なくともBF4からBF一対2は、
1:04:48	広がりを持ってなきゃいけないよねということがわかりましたそれと、 会合での答えと変わってないってことですよ。だから、17ページの、 例えば17ページの、
1:04:58	文献の話だとかそういうこととあわせて、広域的に分布するっていうこ とを説明するっていうことで、理解しておけばいいんでしょうかという ことと、
1:05:09	もしそうだったらちょっとこの辺をですね、あと誤解を招かないよう に、
1:05:14	記事を適正化していただけたらなと思います。じゃないとまた何か前回 の会合の繰り返しみたいなことを言わなきゃいけないのかなってちょっ と違ってしまったっていうのがあって、
1:05:26	お願いします。井元です。
1:05:29	先ほど谷さんおっしゃったように文献も含めて、広域を示していくとい う、
1:05:35	ところで、
1:05:36	我々も考えているところです。
1:05:39	先ほど名倉さんからもありましたけど10ページの方です。何をもっ て、広域を示していくんだというところがまさにそれに該当するかなと 思いますので、
1:05:49	その辺りとの紐づけも含めて、
1:05:52	どういうやり方で、何を、ということが確認できれば、我々として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:59	広域に分布する堆積物という判断をしていくのかというところを、明確化させていただきます。
1:06:05	はいわかりましたお願いします。だから、10 ページで言うと、BF4 からBF1 から、比木2 地点とか、こういったことも書いているんですけどもこの辺のことがちゃんと説明されるってことですね。わかりました。
1:06:31	すいません。あとね、
1:06:33	さっきの鈴木さんの質問とまたもダブるかもしれないですけど16 ページで、
1:06:37	私もこのそもそも、その前段の
1:06:43	条件分岐フローが気になってる中で、条件っていうような聞きにはなってたんですけど16 ページで例えば、
1:06:53	泥層の聞き方、層準と異なる層準という中で海成たい許可海成生物を含む、或いはCs比を示すっていうことが
1:07:03	書いてるんですけど、これがもし示せなかったら、あのフローではノーになっちゃうってことなんですか。
1:07:10	確認させてください。
1:07:17	はい。森元です。まず今、改正に伴う堆積物だということを広がりをもって確認する広がりそれから、
1:07:29	海成堆積物の特徴を示すという方法2点ほど示していこうという、
1:07:34	その方針の上では、
1:07:38	脳の方に分類されると考えておりました、
1:07:42	じゃあ、どういったやり方をもって、
1:07:44	年代を示していくかというところはまた、
1:07:49	前回の年末の会合の話だと、ローリングということで、再検討したいと考えています大谷です。確認できました。これじゃあこの16 ページの海成生物が出るかとかCAMS日が、
1:08:01	海成になるかっていうのはすものすごい大事なことだよな受け取り方をしました。はい。確認できました。
1:08:50	麻生すいません僕BF4 でって言ったかもしれないですけどBF4。
1:08:54	の付近ですよ。南方とかも含めた、その付近で、こういうことを探して探さなかったら、探せなかったらちょっと。
1:09:05	今のところはこの説明が厳しくなるっていうことかと理解しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:14	はいモリモトです。その点がですね前回課題でもいただいております。泥層海成堆積物であるというところの、
1:09:23	誰か答えになるかと思って今我々がやってるところですので、
1:09:29	なんでそこを一生懸命やってるとちょっとその辺りが文章で書いてはいるつもりだったんですけど、
1:09:35	すいません読み取りにくいところがあったので、2ページなので改めさせていただきます。
1:09:50	傾聴スズキです。8ページのところでこれ多分、長々と、ここを議論するはしたくないので、確認をするんですけど、
1:10:01	これ、ちょっとやっぱり読み方が、あれで、
1:10:05	その開始に伴う堆積物であった場合で、佐山課長仮定を置いて、
1:10:10	それが整合関係にある要因の海成段丘堆積物かについて検討しますと言っているこの笠名のところなんですけど、
1:10:19	その分布標高 50メートル、レンジがあって、50メートルそのレンジの中ですねって言ってんですけどそのあとの、
1:10:27	地層に水の法則に反する
1:10:31	っていうのは、これその直後にある御前崎地域において見過ごしに至るか何かこれまで知られていないっていう、この一文がなくても、
1:10:43	ええといえると思って書いてるんですけどこれ。
1:10:46	それとも一応後段のものがあるから、その1個選択肢が潰れるので、
1:10:52	それ残りの選択肢は自動中の法則に反しますよっていうことなんですって。
1:10:57	ちょっとそこだけ教えてもらっていいですか。あんまりここは直したり、議論したりするつもりはないんですけど。
1:11:08	はい森本です。先ほど臼杵がおっしゃったように、
1:11:13	B F 4 地点、とか中学校スギノ泥層と笠名礫層の分布標高って、ラップしてるところがあるので、同じ標高だということはまず、
1:11:23	上下関係ていない。
1:11:26	いいので、普通、類似の法則。
1:11:31	良い話でいうと、まだこれだけで基本的には言い得ると考えておりますただ、
1:11:39	ラップしてるということは
1:11:42	直下にですね要は、
1:11:45	笠名礫層直下の堆積物が、B F 4 地点、泥層じゃないかっていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:52	解釈も成り立たなくはないので、
1:11:55	ちゃんと
1:11:57	事実として、見過ごしに至る開始に伴う堆積物がないですよというところも併記して、今お示ししていると。
1:12:04	いう状態です。
1:12:22	なので、ちょっとその後段がないと、何かここで、いやぱっと見た人がですよ、そういう時の法則に反芻するって、
1:12:31	そんな、そうじゃない場合もあるんじゃないのっていうふうに読めてしまうというそれだけなんですけど。
1:12:37	はい。おっしゃりたい仕事は、多分その前後とか、これまで何回か聞いてるんで、わかりますけど、
1:12:45	ちょっと本当にこれってツリーの法則に、
1:12:49	反す反しない場合ってないんですか。
1:12:53	聞かれたときにどう答えるかなと思っただけなんです。
1:13:10	併記してあるということなんで、後段も含めて読むようにはします。はい。
1:13:41	森本です今、鈴木さんおっしゃったところは確かにおっしゃる通りのところがありまして御前崎が低いんで反するっていうことはそうなんですけど、
1:13:52	ちょっとそこと同じような書き方にしているということは確かに誤解を招くところもあるかと思えますんで、
1:14:00	少し今矛盾スルーだとか、カー、一部反するところがあるだとか少し記載の方は、
1:14:07	検討させていただきます。
1:14:10	は、はい。主に今回っていうか今後多分この辺を使う、
1:14:16	膨らませて説明していく機会があると思うので、そういうときに、はい、わかりやすくしてもらえればなというだけではない。
1:14:54	はい。規制庁のニシキです。
1:14:57	全体のところでちょっと1個だけ、もう1個私の方から4ページ目のところで、
1:15:04	トナー黄色の薄オレンジのところでも四つポツがあるかと思うんですけども、
1:15:10	何かこの評価方針、方針だからまあいいのかもしれないですけどなんか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:15:16	上から三つ目の、
1:15:18	書いてる内容ですねこれ並行して実施するってやつですけども、
1:15:23	何かこれって何かこの並列関係じゃないように読めてしまって例えば3ページ目だとそれって、
1:15:30	何か、
1:15:31	箱書き、黄色の箱書きでベツツ別に出してるじゃないですかそれが何かここだと何か、
1:15:37	同じ。
1:15:38	関係になってる見えてしまってちょっと何か。
1:15:42	読みにくいなあとか思ってしまっただんですけどこうやって、基本はこの並列な評価方針というふうにして考えているということによろしいですか。
1:16:08	はい。森本です。すみませんちょっともう一度確認させていただきたいんですけども、今並列とした並列というのは、サンプル数が横並びでは1、
1:16:20	ということに対するそうですね、はいそうですねはい。同じようなランクのところポツの1があるように見えて、3番目のポツは、内容的には他のポストはちょっと違うような位置付けじゃないのかなあかと思って、
1:16:35	3ページ目のそういうふうに見えるような気がしたので、どう、その辺でどういう関係なのかなと思ったのでちょっと聞いてみたところでした。
1:16:44	はい。方針としてはこの二本立てでやりますという、
1:16:49	こと。
1:16:51	火山灰と、
1:16:54	寝たきりの堆積物云々というところは、へ、
1:16:59	二本立てでやっていきますというところをご説明。
1:17:03	するのが
1:17:06	オレンジのところですのでどちらかというと3ポツ目が、なお書きみたいな位置付けになりますので、少しその辺りメリハリ持った書き方に、
1:17:16	修正させていただきます。
1:17:20	はい。規制庁の伊敷です。はい多分メリハリつけてた方が、
1:17:25	他との関係性がいいのかなと思いますのでちょっとその辺はお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:34	そしたらちょっとあの、続いてニシキですけれども、後半の中追加調査の状況というところの方で少し確認させていただきたいんですけれども、
1:17:44	この辺の資料のところは、前回のところから、
1:17:49	変わってはないかと思うんですけども、
1:17:53	このスケジュールで見るとおおよそなんていいますかほぼ3月の今の上旬に冊子ですので、14ページ目のフローとかで見ると、現地調査、現場調査は、
1:18:06	ほぼ終了みたいところで、
1:18:09	試料分析についても火山灰分析については終了後、微化石等は3月中旬までっていうような形で実線の部分ですけども、書いてるような状況で、
1:18:21	ですけども今回のこの会合に向けてのこの方針とこの資料上は、
1:18:26	反映とかいう話じゃないんですけども、
1:18:30	実際のところの進捗というか、そのあとその火山灰とか、例えば出てきてるんだとか、そのあたりの状況ってどのようになっているんでしょうか現状、
1:18:41	整理、今整理は整理段階だと思うんですけども、その辺りのちょっと状況について確認させていただければと思うんですが。
1:18:53	はい。中部電力の堀本です。火山灰の分析結果ですね今まさに今、結果が出始めてるぐらいのタイミングでして、
1:19:03	その辺りのデータ整理を今やっているところですね解釈も含めてですね。
1:19:10	という状況としてはそのような形です。トレンチとしてもですね今回、追加調査をすることによって、
1:19:17	今回の資料でも、年末から二つほどトレンチ追加しておりますけれども、
1:19:24	ただ数としてですね出てきているというところもあって、
1:19:32	とりあえずの観察と並行して分析も今、実施しているような状況でその、
1:19:38	分析が今まで初めてきて、整理をしているという状態です。
1:19:46	規制庁ニシキです。すいませんちょっと聞き漏らしたんですが、数として出ている。
1:19:51	風間。はい。
1:19:53	の粒子が数として出てるトレンチがあるというそういったお話ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:59	すいませんとと礼装が確認できているトレンチの数があるという意味ですいませんでした。
1:20:07	トレンチの数が多いというだけで、まだその結果については今、整理中でございます。
1:20:15	規制庁ニシキですか、ということは現状
1:20:20	分析されてる方のところにも情報があって、例えば火山灰が出てそうですよとか出てなさそうですよっていう状況がまだよくわかってないっていう。
1:20:31	ようなことかでいっていいことですかね。
1:20:37	はい。その通りです。
1:21:01	すいません。規制庁鈴木です。火山灰っていうかクリプト T e p h r a 以外にもう、何かこれは、
1:21:07	サンプルというか資料化石とかがどれだとか、何かそれなりに花粉が取れてきたとかそういう、ほ
1:21:14	ぽリティ分なものって何かありますいずれも
1:21:17	一応試料採取して分析中っていう、そこです。その段階ですかね。
1:21:25	はい中部電力の森本です。今いろいろ分析中でしてないということも確認できてないというのが実情ですので、すいませんちょっとはい。ありがとうございます。
1:21:40	規制庁の伊敷です。わかりました
1:21:44	分析した実際わかりづらい火山灰とか花粉とか微化石ってのが下、分析しないとわからないっていうことは、だと思しますので、はい、その辺りは確認できました。
1:21:55	一方、何か
1:21:57	何だろ、それについても露頭レベルでわかるような、植物自体だとか甲斐化石というものはやはりそれは現場記載レベルも見つかってないっていう感じでそれは多分見ればわかるような話なんですけどそこは、
1:22:11	どうなんですか。
1:22:13	#NAME?
1:22:23	植物自体も含めてですね現状は確認できてないという状況です。
1:22:32	規制庁ニシキですわかりました。基本的には、その周りの通りについても、いわゆるそのBF
1:22:39	4で見ている泥層と顔つきは似ているというような状況として理解しておけばよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:52	はい。中部電力の森本ですトレンチの状況 24 ページそれから 25 ページ。
1:22:59	はい。ありますねはい。
1:23:01	しております。すいませんちょっとまだ層相観察の結果までこちら資料として反映できてないんですけれども、
1:23:08	B F 4 地点の南側の今 24 人ほどお示ししている。
1:23:13	で確認できている堆積物としては、ちょっと顔つきは、
1:23:18	似ている点違う点ありまして海上の層理の出口堆積物だという点は、
1:23:23	同じ
1:23:26	なんですけれども後の堆積物というのは同じなんですけれども、
1:23:29	硬岩液位はあの南側の方には含まれていなかったというのが、今回の結果です。
1:23:36	それから 24 ページ 25 ページ 25 ページの方ですと少し写真だと見にくいんですけれども、こちらは相良層歴が多く入っているということが、
1:23:48	少し違う点。
1:23:51	んです。
1:23:52	ちょっとこの辺りもですね分析結果も含めて、どういった環境でたまったのかというところは
1:23:58	整理していきたいと考えています。
1:24:02	はい。規制庁ニシキです。はい。状況確認できました。礫州入ってくる力がちょっと違ってるのもあるけども、
1:24:12	その泥層という意味、泥層という意味でいくと、基本、同じような感じと、
1:24:18	海上もそうだとしたことだったという回答だと思います。
1:24:23	ちょっと現地確認の時に、
1:24:26	B F 4 とかでも海上の層理だと言いつつも意外となんか歴が並んでるのは見えなくもないかっていうのは現場で少し議論させていただいたかと思うんですけども、
1:24:38	その後の調査とかでもあのあたりやはり海上無層理だという整理でいい。
1:24:43	だっていうことで進んでるということでよろしいですか。
1:24:49	すいません森本です先ほど甲斐常務層理だという、キーワードを使ってご説明しましたけれども、
1:24:57	11 月の人事確認の際もそういった表現は適切じゃない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:02	だろうというご指摘も、
1:25:04	ございますその辺り表現も含めてですね、資料、
1:25:08	この際は、適切な表現を改めさせていただきます。
1:25:12	それができる配列につきましても、BF4地点の方で、
1:25:17	検討はしている途中ですので、またそのあたりの結果も含め、
1:25:22	最終的にはご報告することができると思います。
1:25:26	規制庁認識ですか。わかりましたそれぞれのドレンチBF4も含めて、 今一度何て言いますか、泥層の堆積層というのも地層を敷く今一度きちんと記載されてんす。
1:25:39	再記載されているというようなことでそれが報告される示されるということでは確認いたしました。
1:26:03	規制庁認識です。前回のヒアリングでもちょっと確認させていただいたんですけども、結局追加調査をされている範囲というものはくどいよう ですけども、例えば26ページで示されている、
1:26:17	範囲ということですねいわゆる御前崎、
1:26:20	の、正木町の方といいますか、古谷泥層ある程度広がりがある分布して るかと思うんですけども、この南側だけで、
1:26:29	基本、勝負しようというか今回今のところは、そこら辺を、
1:26:33	のデータを集めてるってことでよろしいですね。
1:26:38	はい森本です。その通りです今は
1:26:43	古谷泥層がどういったものかというのを文献、もう一度、総ざらいして 調べているところですけども調査時点として、今実施というところは、
1:26:51	こちらに示し見合う椿南を追加して、調べているという状況です。
1:26:58	はい。規制庁の伊敷です。はい。再度確認できました。
1:27:11	すいません規制庁スズキでちょっとその進捗の関係で、
1:27:15	地表踏査とかボーリングとか試料採取のところではないんですけど10 ページの、
1:27:21	文献調査ってありますよね。
1:27:24	でも行為結構入口で網羅的に調査して泥層と共通した特徴が何かを整理 する。
1:27:32	これって何か共通特徴ってせ、この整理って終わってます。
1:27:42	はい、森本です。も同じご質問前回のヒアリングの時タニさんからもち たいてたと思うんですけども、BF4の追加調査の結果それから追加 で実施している。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:56	比木宮内という通過地点の調査結果も含めて、こういった共通項があるのかっていうのを検討してるところでして、すみません何で終わってますって言い方だとそうなっちゃうんですけど、いや何か文献調査、網羅的に調査したレベルで、
1:28:12	何かこういう共通した特徴、
1:28:16	がありますとか、いや今まではわかってなかったんだけどこういう新たな共通した特徴があると思われませんか、
1:28:23	あと、文献調査段階で何か出てきたものありますか。
1:28:33	特に新しいものなしで、引き続き、後段の調査待ちですっていう、そういうことですかね。
1:28:43	はい森本です。遺品か関田伊井の話はですねもう文献いろいろ他にも当たってますねえと。
1:28:52	知見等を拡充しているところです。
1:28:55	本当に最大公約数という意味では自主堆積物だっていう最大公約数であることは管理ができてるんですけども、
1:29:03	まとめ非化石というキーワードぐらいになります。
1:29:08	全く何か新しく何かっていうものをいわゆる去年の9月ですかね時にも、
1:29:14	ある程度古谷泥層との対比のところでも、
1:29:17	いわゆる文献レベルで言われてる話とか出てきましたんでそこから何か新しいものが特に出てきてるわけじゃないですね。はい。
1:29:41	はい。あ、規制庁ニシキです。
1:29:43	規制庁側からの確認は以上。
1:29:49	になりますが、
1:29:50	中部電力の方から何かございますか。
1:30:03	中部電力浜野でございます。
1:30:06	特にはございません。ちょっと、
1:30:11	どうでしょうか。
1:30:12	今、文献の話もありまして、我々としても、
1:30:19	なかなかモリモト申し上げた通り、文献だけでみると、
1:30:24	今や泥層だっていうことぐらいしか共通項がないっていうのもあるので、
1:30:29	先生方にいろいろ、
1:30:31	お知恵を拝借して今、何かいえることがないかっていうところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:37	確認は進めているところです。なので本本番のコメント回答の時にはそういうことも含めて、
1:30:44	回答したいと思っております。
1:30:47	それが特にごさいません。はい。
1:30:55	はい。
1:30:56	規制庁ニシキです。はい。
1:30:59	そしたらこちら、
1:31:00	からも、特にないようですので、本日のヒアリングの方はこれで終了したいと思います。
1:31:08	お疲れ様でした。
1:31:10	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。